

シャクジョウソウ *Monotropa hypopitys* L.

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 2、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 1、総点 11。自然度の高い場所に生育する腐生植物で、愛知県では点在するが、どの場所でも個体数が少ない。

【形態】

全体が淡黄褐色の、腐生の多年生草本。茎は高さ 10~20cm で、上部に軟毛がある。葉は互生し、鱗片状で広卵形、先端は鋭頭である。花期は 6~8 月、茎の先に総状花序をつくり、4~8 個の花を下向きにつける。花は筒状鐘形でがく片は 4~5 枚、花弁も 4~5 枚で長楕円形、長さ 1.2~1.5cm、先端は円頭、辺縁には不規則な歯牙がある。果実はさく果で、上向きにつく。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：1 富山 (小林 48053, 1993-9-19)、4 津具 (村松正雄 18143, 1998-8-23)、9 鳳来南部 (小林 62069, 1997-8-30)、11 作手 (山崎玲子 2113, 2000-1-1)。西：19 旭 (日比野修 1369, 1993-6-22)、20 足助 (山崎玲子 1533, 1996-10-8)、21 下山 (山崎玲子 1642, 1997-10-22)、24 豊田東部 (山崎玲子 2853, 2003-6-25)。尾：48 春日井 (山田果与乃 376, 1998-7-23)。2 豊根 (柴山, 加藤等次 1170, 1967-8-5)、6 設楽西部 (段戸山, 杉浦哲郎 88, 1949-8) で採集された標本もある。

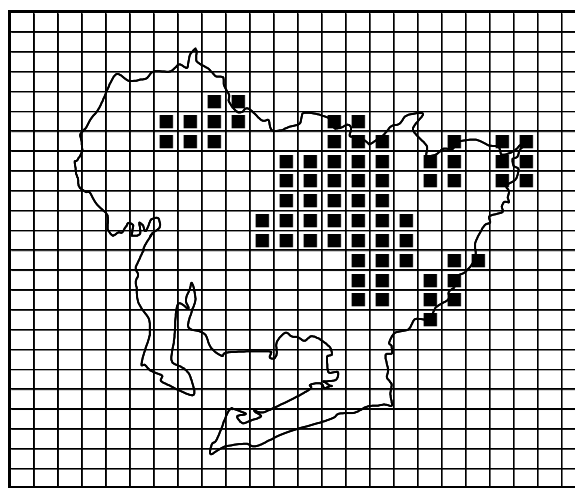
【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州。

【世界の分布】

アジア、北アメリカ、ヨーロッパの温帯に広く分布する。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の落葉広葉樹林内に生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

点在するが、どの場所でもたまたま発見できたというような状況で、確実に観察できる場所は少ない。自然林やよく発達した二次林の伐採により、減少傾向にあるものと思われる。

【保全上の留意点】

生育が確認されている場所の森林を保全することはもちろん必要であるが、本種のような出現頻度の低い植物については、自然環境の全体的な劣化を防止しなければ、いつの間にか消滅してしまうおそれがある。

【特記事項】

和名は、花序が僧侶や修験者の持つ錫杖に似ているからである。

【関連文献】

保草本 I p.235, 平草本 III p.6, 平新版 4 p.226.